

横川っ子だより



ほたるの棲める横川地区を取り戻そう

8月31日、よし池クリーン&かいどり作戦が行われました。当日は、200人を超える人の参加があり、横川小学校からも30人の子どもたちが参加してくれました。

地域コーディネーターの神谷豊実さんは、「地域の環境をよりよくしようと、たくさんの人が集まってくれてうれしい」と話していました。

3年前と比較すると、ごみはほとんどなく、とてもきれいでした。そして、在来魚の数が10倍以上に増え、生き物にとっても棲みやすい環境に変わってきていることがわかりました。ほたるが棲める町を取り戻すまで、ため池のごみ拾いとかいどりが続くことを願います。



横川のまちづくりは、将来、子どもたちが担っていきます。横川に愛着と誇りをもって、横川をよりよくしていこうと努力している人たちの思いを感じ取りながら、地域の人たちとともに活動する子どもたちが増えるといいなと思います。

PTAの人たちが、この夏休みに観察池をきれいに掃除してくれました。お手伝いをしてくれた子どもたちもいます。その観察池には、かいどりで捕った魚が気持ちよく泳いでいます。地域の人が、「来年は、観察池にほたるの幼虫を放流してみよう」と提案してくれました。ほたるが棲める横川小学校になったら、もっと、元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱいの学校になっていると思います。

今年、よし池でほたるを見たという人が何人もいたそうです。

スマホの使用 家庭でのルールづくりから

9月12日、親子講演会で「ネット社会やスマホとの付き合い方」について、考える機会がありました。当日は、4～6年生の子どもたちと130人の保護者の皆様にご参加いただきました。

冒頭の映像では、ネット依存、ゲーム依存により、自分の生活が壊れていく、自分の身が壊れていく怖さについて気付かされました。スマホが脳や目、耳に与える影響も大きく、今やゲーム障害は、日常生活に支障をきたす病気と認定されるまでになりました。

